

# IT導入補助金の概要

ヤマダ総合公認会計士事務所

# 概要

従来より基本的な取り組みを中小企業に幅広く浸透されるイメージに変わりました。

## 従来

- 上限100万円
- 予算100億円
- 1.5万社の利用を想定

## 新制度

- 上限50万円
- 予算500億円
- 13.5万社の利用を想定

今までの想定では、料金面でも安くない高度なものを使うイメージでしたが、変更後は基本的なIT導入を想定している印象です。  
また、金額としても件数としても、小規模の会社が多く利用することを想定しています。

# 補助金の概要

詳細な募集要項はこれからですが、おおむね次のような内容です。

項目	概要
補助金額	<u>実費の2分の1 15万円～50万円</u> 実費負担なので、まずは全額を負担する必要があります。
想定内容	会計、簡易決済、在庫管理、顧客管理等
手続	<u>基本的にはIT業者が申請及び報告の準備はしてくれること</u> になっています。 また、生産性について簡単な計画も作成しますが、そちらはIT業者が対応しないならヤマダ総合でも対応可能です。
備考	結果について国に報告義務がありますが、結果が悪いので補助金を返還するということはありません。

業者等との打ち合わせは必要になりますが、通常の導入に比べて必要以上に多くの手間がかかるという内容ではありません。

# 負担の例

例) 30万円の各種総合管理ソフトを購入  
業者の手続料は上記の30万円に含まれている  
会社は十分に利益が発生している。

## 【実際の負担額の計算】

- ①総費用: 30万円
- ②補助金:  $30\text{万円} \times 1/2 = 15\text{万円}$
- ③ヤマダ総合の費用: 3万円(仮)
- ④費用を支払うことによる税金の減少:  $(15\text{万円} + 3\text{万円}) \times 33\% = 5.9\text{万円}$

$$\textcircled{1} - \textcircled{2} + \textcircled{3} - \textcircled{4} = 12.1\text{万円}$$

30万円のIT投資を実質12.1万円で行うことができます!